

快 樂 的 実 験 装 置

フェジスタンスもしくはコンフィクション、そのためのオーケストラ



成人向



命...命...命...

姫宮...
今すぐ助けて
あげる...から...っ

僕は...
君を...
姫宮を...守るって
決めたんだ...っ

カッ

カッ

カッ



ウテナ様…

守れませんよ

だって
ウテナ様は…

『女の子』
じゃないですか

こ…
これは…っ！

姫…宮…
それは…

これが
現実ですよ
ウテナ様

ウテナ様は
ちゃんとした
女の子なんです

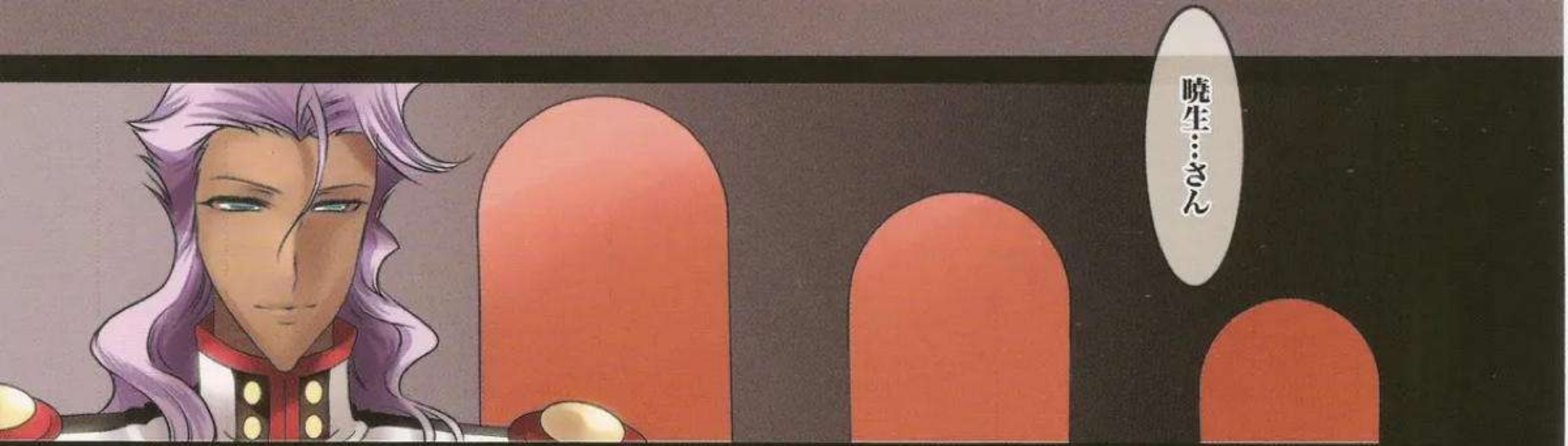
可哀想な人…

いくら頑張っても
王子様には
なれないんですよ

や…めろお…っ

お兄様と
お楽しみだった
じゃないですか





暁生…さん



この間の君は
素敵だったよ

…とてもね

初めてなのに
俺のを迪々しく
口に含んでいたのには
感動すら覚えたよ

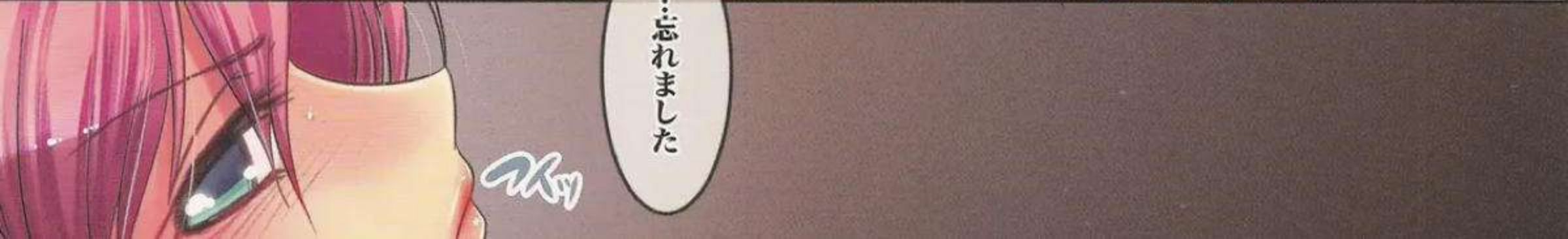
…い…な…め…



君はもう
俺のことは
愛してくれないのかな？

…

…忘れました



つれないね…

この間は
君も幸せそうに
俺に抱かれていたのに

暁生さん…っ
僕は…

君には王子様は
向かないよ

こんなに女の子
じゃないか

君が感じる場所は
もう把握しているんだ

こんなにして…
これでもまだ
王子様で
いられるのかい？

ほら...

ト
ア
ン
タ
ン

ああ...
かわいいね...
君は...

体中敏感で
女の子らしい体だよ

君はやっぱり
お姫様でいるべきなんだ

君は俺の姫君として
いつまでもいつまでも
幸せに暮らすのさ

こんな風に
いつも仲良く
愛しあいながらね

セ
ク
ス

セ
ク
ス

セ
ク
ス



やめ…て…
曉生さん…

僕は…

意識を集中して…
俺の出てたり入ってるのを
感じるんだ…

君はこうやって
後ろから
奥のほうを
突かれるのが
好きだったね

俺に全て
ゆだねるといい…

何も考えなくていいんだ…
ただ…快楽に身を
まかせて…

ほらもう子宮が
こんなに
簡単に降りてきてるよ

体は正直だな…
こんなに女の子だ
早く俺の精子を
欲しがっている

いいね…
俺のを咥え込んで
離さないみたいだ…

せいか

せいか

せいか

せいか

せいか

気持ちいいだろう...?
これが女の体さ...

や...ああ...

...うん...
...うん...

深く...







素敵だよ
ウテナ...

素敵だよ
ウテナ...



おいで
俺の姫君…

快樂的
實驗
裝置

